

郷土料理の伝承のための調理教室と食育講話

事業実施主体：富谷市（宮城県）

- 第3期富谷市食育推進計画の施策体系、施策の方向性、主な取組において、「郷土料理や地域の食文化に関する情報収集に努める」、「みやぎの郷土料理や昔ながらの家庭料理について、世代間交流事業や料理伝達講習などの機会を設ける」ことが明記されていることから、郷土料理の調理実習及び世代間交流を通して、食への興味・関心を高め世代を超えて食文化を継承することを目的とした。
- 地域の食に密着した事業とするため、地域住民の参加を募り、地場産品を取り入れた郷土料理を3世代（小学生、保護者、高齢世代）が一緒に学ぶ機会を提供した。



【取組の内容】

○ 食育講話

小学生、保護者、高齢世代の3世代を対象に、宮城県の郷土料理や食材について学ぶ講話を実施。



（食育講話の様子）

○ 調理実習

「味噌おにぎり」や宮城県の郷土料理である「はっと汁」を3世代が一緒に調理しながら作り方を学び、食すことができる調理実習を実施。



（味噌おにぎり）



（はっと汁）

【取組の成果】

○ 食育講話

市民が宮城県の伝統と特色を学び、今後の食育及び郷土料理の伝承への意欲を高めることにつながった。

○ 調理実習

郷土料理を実際に作り、食べる機会を得られたことで、郷土料理の魅力が再発見されたほか、3世代がともに調理実習を行ったことで世代を超えた交流ができた。

【事業の目標】

① 食文化の継承度

事業実施前 44.0%
→事業実施後 88.8%

② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合

事業実施前 69.8%
→事業実施後 100%

